



### 校長室から

全員喫食制中学校給食が始まって1年が経過しました。アレルギー対策や教室のロッカー整備など、さまざまな準備を重ねた結果、大きな問題もなく安全・安心な給食を毎日提供できることを感謝しています。生徒の皆さんは美味しい給食を楽しんでいるでしょうか。

私もできる限り給食の配膳に立ち会っていますが、生徒の皆さんが真剣に配膳や後片付けにとり取り組む姿は、私の大きな自慢です。それぞれが持ち寄りのお弁当と違い、学校給食は全員が食べ始めるまでの配膳時間が大きな課題になります。特に金岡南中学校のように、約1000食もの給食を安全に配るためには細心の注意が必要です。当初はかなり心配をしていましたが、その不安は良い意味で裏切られました。導入当初こそ時間がかかりましたが、今では午前中の授業を終えた全26クラスの給食当番がエプロン、マスク、頭巾を身に付けて食缶を受け取るまでにかかる時間は平均して13分ほどです。その後、各クラスで配食、食後の片付けも手際よく進んでいます。昼休みにはグラウンドでボール遊びをする時間も確保でき、図書室で過ごす生徒も増えています。もちろん、エプロンを忘れて給食時のルールを守れなかったりすることは全くないわけではありませんが、全体としては非常にスムーズに給食への対応ができています。

当たり前のことを、他では真似できないくらいしっかりとやることを指す「凡事徹底」という言葉があります。美味しい給食のために当たり前のように1000人が力を合わせて取り組んでいる姿を見ると、やっぱり「ザ・金岡南」だと感じながら美味しく給食を食べています。

### 校長室から その2

体育大会を盛会のうちに終えることができました。各学年ともに熱心な準備と練習を重ねていましたが、おそらくその過程では様々な壁にぶつかったはず。皆さんはクラスの絆を深めながら、一つひとつ問題を解決し、素晴らしい成果にたどり着きました。

また、体育大会をご覧いただいたご家族の皆さまにも、前列入替制にご協力いただいた結果、多くの方々に気持ちよく過ごしていただけたようです。深く感謝申し上げます。

体育大会をご覧いただいた方々からは、金岡南中学校の生徒もご家族も素晴らしいという声を頂いています。学校全体で行事に臨む姿は、「ザ・金岡南」らしさに溢れていると思っています。これから続く行事にも力を合わせて臨みましょう。

### 沖縄

3年生は6月9日から修学旅行で沖縄に向かいますが、81年前の6月、沖縄の陸と海と空は日米両軍が激突する戦場でした。昨年も皆さんにお伝えしましたが、沖縄戦末期、日本海軍沖縄根拠地隊の太田実司令官は最後の訣別電報で、通信手段を失った沖縄県知事に代わって報告することがあるとして、沖縄県民の功績を詳細に語り、末尾に「沖縄県民斯克戦ヘリ 県民ニ対シ後世特別ノ御高配ヲ賜ランコトヲ(沖縄県民はこのように戦った。県民に対し、将来、特別のご配慮を頂けるようお願いする)」と記しました。先の大戦中、全滅する日本軍が打つ最後の電報の常とう句だった「天皇陛下万歳」や「皇国の弥栄を祈る」という言葉はなく、ひたすら沖縄の状況が綴られています。さらに、内務省(現在の総務省)から沖縄に派遣された島田勲知事も忘れられない人物です。大阪府内政部長から沖縄知事への異動が決まり、周囲が命の心配をする中、「俺は死にたくないから誰か代わりに行って死んでくれとは言えない」と家族を大阪に残して戦火の迫る沖縄に赴き、「島守」として慕われました。私は以前、総務省出身の上司から、「任地を愛せ、家族を愛せ、仕事を愛せ」が旧内務省から総務省に引き継がれる言葉だと教えられましたが、島田知事はその言葉通りの生き方をされたのでしょう。太田司令官と島田知事は仲が良く、戦闘中も連絡を取り合ったそうですが、お二人とも生きて再び家族のもとに帰ることはできませんでした。

戦争も悲劇は続きます。太田司令官のお嬢さんの一人は戦後、ニュージーランド人と国際結婚して同国首都ウエリントンに渡りましたが、かつての敵国人として「日本に帰れ」と心無い言葉を浴びせられたそうです。彼女はその後、堺市との縁が深い「堺ウエリントン協会」の役員となり、ホームステイの受入れなど両市間の「草の根交流」に尽力されました。実は私たち金岡南中学校もウエリントンとの相互訪問の受入先となっています。もう一人、アメリカに嫁がれたお嬢さんは、沖縄戦で米軍を苦しめた日本軍司令官の娘とわかったと、パンも売ってもらえないほどの差別やいじめにあう辛い経験を重ねました。後年、小淵恵三首相が訪米した際に「大変でしたね」と声を掛けると、「父の苦勞に比べたら、たいしたことはありません」と泣き崩れたという話が残されています。戦争が人々の運命を大きく狂わせる中にあるのも、誠実な生き方を選ぶ方たちがいたことを教えてくれる、大阪、堺に縁のあるご家族の物語です。

### 少年法とトクリウ

重大な少年犯罪が起きると「少年法は甘い」という声が上がります。確かに、1997年に神戸連続児童殺傷事件、いわゆる酒鬼薔薇事件が起きた当時は、刑法上の責任年齢が14歳であるのに、刑事処分を受けて刑務所に収監される年齢は16歳以上でした。しかしこの時期に相次いだ重大少年事件を契機として、処分年齢や刑事手続き等に関する法改正が行われました。現在では、14歳以上の重大犯罪は刑事罰の対象になりますし、小学校高学年の児童でも少年院送致となる可能性があります。

それにもかかわらず、「トクリウ(匿名・流動型犯罪グループ)」の首謀者たちは若い実行犯をリクルートする際、少年法を盾にして「重い罪には問われないから大丈夫」と言葉巧みに誘うと言われています。決してそんなことはありません。少年法は甘いという闇バイトの甘い言葉に騙されないでください。

### 優しさ

先日、とても嬉しい報告が届きました。金岡南中学校の生徒が下校途中、道で倒れているご老人を見つけ、声を掛けたり椅子を運んできたりしてくれたそうです。さらに、通報を受けて駆けつけた救急車の誘導にも協力してくれたと聞きました。私はいつも、生徒の皆さんに「正しく」「優しく」「たくましく」あってほしいと伝えていますが、今回の行動はまさにそれを実践してくれたものです。困っている人を見かけたとき、助けることが正しいと分かっているのに、実際に行動するには勇気が必要です。気恥ずかしさが先に立つこともあります。だからこそ、今回ためらわずに行動できた素晴らしい皆さんと同じ学校で過ごせることを、誇りに思い、幸せに感じています。

### 6月の予定

- 1日 2年生堺市学調 検尿2次
- 2日 1年生堺市学調
- 5日 教育実習最終日
- 6日 3年生のみ授業(弁当必要)
- 9日 3年生修学旅行(～11日 沖縄)
- 17日 実技テスト
- 22日 期末テスト
- 23日 期末テスト
- 24日 期末テスト
- 25日 再試験日 歯科検診(1年・3年)
- 29日 1年生校外学習  
(関西サイクルスポーツセンター)



### 自転車

皆さんもご存知のように、4月から道路交通法が改正され、自転車についても反則金(青キップ)の対象となりました。中学生は青キップの対象ではありませんが、守るべき交通ルールは大人と変わりません。ご家庭におかれては自転車保険加入やヘルメット着用等について、改めて確認をお願いします。

### ホームページのご案内

金岡南中学校ホームページは随時更新しています。次のURLまたはQRコードから最新の金岡南の姿をぜひご覧ください。(URL <https://www.sakai.ed.jp/weblog/index.php?id=sakai114>)

